

石狩東部広域水道企業団経営戦略モニタリング

[令和3年度]

令和4年7月5日

石狩東部広域水道企業団事務局

1 経営戦略のモニタリング（進捗状況確認）について

- ・経営戦略は、令和3～15年度の13年間を計画対象期間とする中長期的な経営の基本計画として令和2年8月に策定
- ・毎年度の決算確定後に、経営戦略の計画値と実績値の差異を比較することによるモニタリングを実施
- ・モニタリングにおいて大きな乖離が認められた場合には、令和4年度・9年度のローリング（計画見直し）を待たずに、計画全体の見直しや再検討を実施

2 令和3年度モニタリング

（1）供給水量

	計画(m ³)	実績(m ³)	増減(m ³)	計画比(%)
漁川系	20,618,485	20,871,520	+253,035	101.23
千歳川系	2,478,350	2,514,763	+36,413	101.47
全体	23,096,835	23,386,283	+289,448	101.25

（2）収支状況

計画と実績の対比は別添『収支計画』のとおり

<特記事項>

① [ボールパーク事業]（漁川系会計）

- ・北海道ボールパークアクセス道路造成に伴う漁川系送水管の移設要請を受け、経費等を計上していたが、北海道との協議の結果、移設が不要になった。

② [送水管布設工事]（漁川系会計）

- ・施工中に一部の掘削箇所が崩れる可能性が生じ、工期を延長したことから、建設改良費を令和4年度に繰り越した。

③ [導水管布設工事]（漁川系会計）

- ・更新用地の面積確定及び関係機関等との協議に時間を要したため、施工年度を令和4年度に変更した。

3 モニタリングの総括及びローリングについて

(1) モニタリング総括

ア 特記事項の影響

次の理由により、前記の特記事項①～③は、計画全体の資金状況に大きな影響を与えることはない。

① [ボールパーク事業] (漁川系会計)

- ・北海道から補助金を受けて送水管移設工事を行う計画であり、工事費の支出と工事費見合いの補助金収入をそれぞれ計上していたが、それら収入・支出が共に非計上となったため、収支としては大きな影響がない。

② [送水管布設工事] (漁川系会計)

- ・令和3年度からの予算繰越しのため期間中の収支には影響なし。

③ [導水管布設工事] (漁川系会計)

- ・支出年度が令和3年度から令和4年度に変更となったが、期間中の収支としては、大きな影響がない。

イ その他の進捗状況

おおむね計画どおりの進捗

(2) ローリング

今回のモニタリングの結果、計画への影響は小さいものと判断されることから、当初の予定どおり、ローリングを行うこととする。

